

**アマゾンの浸食、ZOZOの凋落、GAPを抜き去ったユニクロ  
激変を続ける業界内部で、いま、何が起きているのかを探る**

# アパレルは死んだのか

～総合法令出版より7月9日発売～

## アパレルは死んだのか

IS THE APPAREL  
INDUSTRY DYING?

東京モード学園  
ファッションビジネス学科講師  
文化服装学院  
グローバルビジネスデザイン科元講師  
たかぎ こういち

### アマゾンが市場を喰らう前に

- 凋落のZOZO／復活への希望はどこに ←
- 不惑のユニクロ／圧倒的な差別化の背景 ←
- 焦燥のGAP／無視される日本の消費者 ←

すべての常識、ルール、習慣を疑え  
新しい価値はそこから生まれる

## 新旧有名ブランドの比較や 米国市場の分析から見える 日本アパレル業界の未来とは

1991年に15兆円を超えていた日本のアパレル市場は現在約10兆円といわれる。縮小を続ける市場に現れたECという新たな脅威。さらにグローバル化の波により、強力な敵が容赦なく攻め立ててくる。そんな中、成長できる企業と縮小を続ける企業の二極化が進む。その差はどこにあるのか。問題はアパレルに限った話ではない。どんな業界、職種にも必要な、時代の変化への対応である。変わらない日本の企業、主体性を持たない個人、持続した対策を打てない行政。これからの社会で生き残るために、そしてもう一度、世界に誇れる日本の経済を取り戻すために、私たちは何をすればいいのかを探る。

### ◆本書の構成◆

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 第1章 アマゾン vs ZOZO  | 第4章 変わらない日本企業  |
| 第2章 ユニクロ vs GAP   | 第5章 パラダイムシフト前夜 |
| 第3章 米国ファッション業界のいま | 第6章 アパレルの生き残る道 |

◆書名:アパレルは死んだのか ◆著者:たかぎこういち ◆価格:本体1,500円+税 ◆ページ数:240P

### たかぎこういち

タカギ&アソシエイツ代表。スタイルアドバイザー。東京モード学園ファッションビジネス学科非常勤講師。文化服装学院グローバルビジネスデザイン科元講師。

1952年、大阪生まれ。奈良県立大学中退。大阪で服飾雑貨卸業を起業。22歳で単身渡欧後、香港に渡り、現地で実績を積む。1998年、現フォリフォリジャパングループとの合併会社取締役に就任。オロビアンコ、マンハッタンポーテージ、リモワ、アニヤ・ハインドマーチなど海外ファッションブランドをプロデュースし、日本市場に広める。また、第1回東京ガールズコレクションに参画。米国の有名ファッション展示会「d&a」の日本窓口なども務めた。時代に沿ったブランディング、MD手法には定評がある。2013年にファッションビジネスのコンサルティング会社「タカギ&アソシエイツ」を設立。著書に『オロビアンコの奇跡』、『超入門 日・英・中 接客会話攻略ハンドブック(共著)』(共に織研新聞社)、『一流に見える服装術』(日本実業出版社)などがある。

お問い合わせ先:総合法令出版株式会社 編集部 久保木 TEL:03-5623-5121 メール:kuboki@horei.com